

でん粉原料用サツマイモの新品種「こないしん」の特性

「こないしん」は、「シロユタカ」に比べて多収で、つる割病抵抗性が強く、でん粉重が重く、でん粉白度も高い

背景・目的

- ・サツマイモは本県畑作の基幹作物であるが、その生産は高齢化や労力不足により減少傾向
- ・でん粉用主要品種の「シロユタカ」は、5月植えでつる割病の発生が多く、気象要因の影響も含めて、生産が不安定
- ・でん粉原料用の生産量を安定確保するために、多収で病害に強く、でん粉歩留りの高い品種の選定が必要

成果の内容



こんないしん
地下部

品種・系統名	いもの形状	皮色	肉色
こんないしん	短紡錘	茶橙	淡黄白
シロユタカ	短紡錘～紡錘	白(帯紅)	白
ダイチノユメ	紡錘～長紡錘	白	淡黄白

病害虫抵抗性

品種・系統名	つる割病	ネコブセンチュウ		黒斑病
		ネコブセンチュウ	ネグサレセンチュウ	
こんないしん	やや強	強	やや強	中～やや弱
シロユタカ	(やや弱)	強	強	強
ダイチノユメ	—	強	中	やや弱
コガネセンガン	(やや弱)	やや弱	やや弱	弱

注1) つる割病、センチュウ抵抗性: 育成地情報
2) 黒斑病抵抗性: 長崎農林技術開発センター調査

【特性】

- ・上いも収量: 「シロユタカ」より多い
- ・つる割病抵抗性: 「シロユタカ」より強い
- ・種いもの貯蔵性が良い(腐れにくい)
- ・萌芽性: 「コガネセンガン」並
- ・しよ梗がやや強く、いもが離れにくい
- ・でん粉: 歩留は「シロユタカ」並で、でん粉重は重い
- ・でん粉白度: 「シロユタカ」よりやや高い

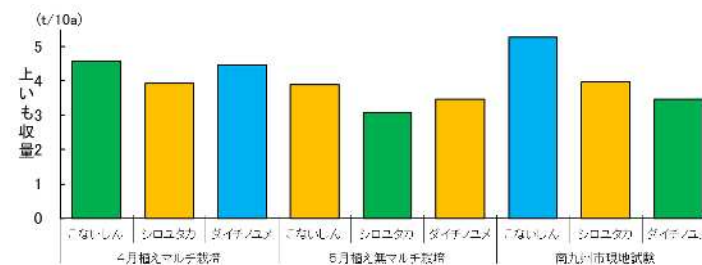
生態的特性

貯蔵性 (種いも)	萌芽性 (種いも)	しよ梗の 強さ
やや易	やや良	弱
やや易	中	やや弱
やや易	中	中

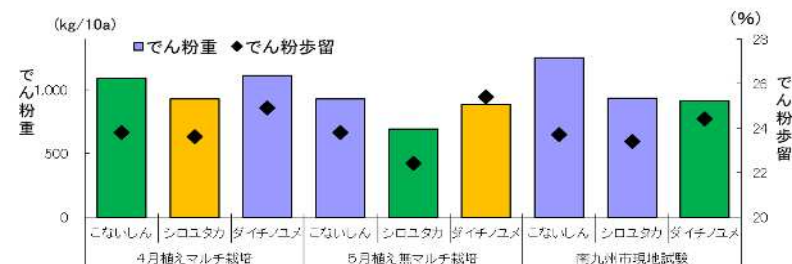
注1) 貯蔵性: 育成地情報
2) 萌芽性、しよ梗の強さ: 大隅支場調査

導入メリット

○ 収量は「シロユタカ」に比べ約2～3割アップ



○ でん粉重も「シロユタカ」に比べ約2～3割アップ



- ・生産が安定し、収量やでん粉重が確保される
- ・生産者やでん粉業者の経営が安定

普及対象・範囲

本土、熊毛地域のでん粉原料用サツマイモの生産者

品種の育成地: 農研機構 九州沖縄農業研究センター

期待される効果

でん粉原料用サツマイモの生産性向上とでん粉業者の経営安定

鹿児島県農業開発総合センター大隅支場

(品種選定に関する試験, イノベーション創出強化研究推進事業)